

「話のたねのテーブル」より

パパイアは原産地の名前の1つから

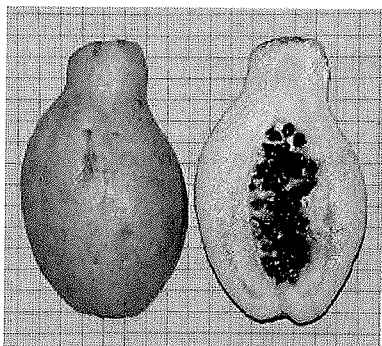
鈴木邦彦

パパイア (*Carica papaya* Linn. パパイア科, 英名: papaya, papaw, 中国名: 木瓜, パパイヤとも呼ばれたが, 学会ではパパイアに統一) の名前は, カリブ海地域での呼び名が元になっているといわれる。

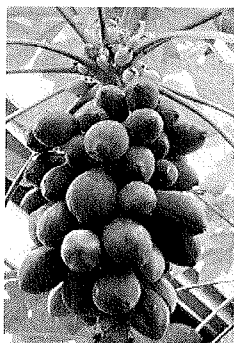
原産地はメキシコ南部～コスタリカなどの中南米の地域で, いくつかの野生種がある。それらが交雑して自然発生したものから良い特性を持ったものが選ばれ, 栽培されるようになったのであろう。コロンブスが1492年にキューバへ上陸した時期以降に発見されたとされているが, これらの地域にはもっと古い時代, 中国の明の時代に中国人が遠征を試み, 実際に到達していたという説も囁かれている。

ポリネシアやイースター島などの太平洋の島嶼部には, ヨーロッパ人が訪れたときにはすでにパパイアをはじめ, それらの地域を起源としない多くの作物が見られたという。

いずれにしても, 古い文献に残っている記録としては, スペイン人のオヴィエドという人が1535年にスペイン王に宛てた手紙の中で, 中央アメリカにパパイアの樹があったことを報告しており, その際, ニカラグアでは「オロコトン」と呼び, イスパニオラ島では「パパイア」の名前で呼ばれていたとしている。その後, スペイン人などがパパイアの名前で世界に伝え広めたのではないかと考えられる。(話のたねのテーブルNo.171より転載)



▲ハワイの代表的品種「ソロ」



▲パパイアの果実



▲パパイアの雌花

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小川 奎
発行人 植調編集印刷事務所 元村 廣司

発行所 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話 (03) 3833-1821 (代)
FAX (03) 3833-1665

平成24年2月発行定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第45巻第11号

(送料270円)

印刷所 (株)ネットワン